

03 社会連携研究センター開設

—新たなる知の連携をめざして—

当センターは、本学の社会連携戦略を構築し、知的財産の創出・管理・活用および生涯学習支援、医療・健康教育等幅広い分野の社会連携活動を支援することを目的として、平成17年4月1日に設置されました。

日本経済の成熟化、企業のグローバルな投資・立地戦略の展開に伴い、地方の産業経済、地域社会は、従来の成長路線に代わる独自の自立的な発展の道を求められてきております。

本学では、社会貢献を教育、研究に次ぐ第三の使命として位置づけ、これまでも積極的に取り組んできておりますが、本学の中にはすばらしいシーズがまだまだ沢山埋もれたままになっております。また社会的ニーズにつきましても、学内に留まっていたのでは聞こえてこない様々なニーズがあります。この学内のシーズと社会のニーズを掘り起こし、今後その連携の仲立ちをしていきたいと考えております。

本学の社会連携は、産学連携、まちづくり、文化活動の三つに大きく分けることができます。

産学連携においては、地域共同研究センターが窓口となり、これまでもシーズとニーズをマッチングすべく共同研究等を進めてきておりますが、今後は大学側から産業界に積極的に飛び込んで行き、企業の身の回りの身近な問題にも取り組んでいけるよう、関係部門と連携し、体制をさらに強化したいと考えております。

まちづくりにおいても、これまで教育人間科学部、工学部、農学部等を中心に積極的な取り組みがなされておりますが、今後は地方自治体、関係諸機関等と緊密な連携をとりなが



ら、知恵を出し合い、これらの活動がさらに大きく発展できるよう支援体制を整えたいと考えております。

文化活動では、これまで各種公開講座、社会連携セミナー、健康・医療教育、音楽会等を開催してきておりますが、今後は地元の住民の皆様と取り扱うテーマについて直接話し合える場を設け、琴線に触れる文化活動をめざし、全学一丸となってこの活動を発展させていきたいと考えております。

これらの活動を真に充実したものとするためには、その前提として「自助の精神」(Self Help)が大切になります。まず自らの夢とビジョンをしっかり持ち、最初の一步を踏み出したうえで連携にのぞむとき、真に価値あるものが生まれてきます。そしてこれら三つの活動が互いに他の活動を支えあいながら進むとき、全体としてひとつの大きな連携の波がおこり、新潟の地に新しい産業と文化が生まれてくるものと考えます。

この新しい産業と文化づくりに本学も貢献できるよう社会連携戦略を展開していきたいと考えておりますので、教職員の皆様だけでなく学生の皆様も、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■連絡先／研究支援第一課 TEL 025-262-6532

04 入学センター開設

入学センターとは

大学の「入り口」に関わる仕事を担当する組織、それが入学センターです。入学センターは、平成15年度に設置されました。そして、平成16年4月には、専任教員1名が配属され、現在は、センター長(副学長が担当)、専任教員および協力教員3名(法学部、医学部、工学部)の体制で活動を行っています。



昨年度の主な活動

昨年度の主な活動としては、入試広報と入学試験結果の分析が挙げられます。具体的には、

- 1.新潟大学への入学を考えている皆さんに、大学の情報を提供する
- 2.入学試験の結果を様々な角度から分析し、より適切な問題を作成するための基礎資料を提供するといったことを実施しました。

高校生向け広報ビデオの製作

また、昨年度は高校生向けの大学広報ビデオも製作しました。このビデオは、副専攻「メディア・リテラシー」を履修している学生の皆さんを中心にプロジェクトチームを結成し、製作したものです。ビデオは、「ドラマ版」と「ニュース版」の2本ありますが、どちらも高校生の目線に近いところから、高校生が、大学について知りたいと思っていることを紹介するビデオに仕上がっています。これらのビデオについては、今後、大学説明会等の機会に上映し、また希望者には貸出も行う予定です。

入学センターの目指すもの

入試は、大学と学生の皆さんをつなぐ最初の重要な接点です。入学センターでは、各学部の先生方と協力しながら、入学する側も受け入れる側も、お互いが満足のいくシステム作りを目指しています。今後も、本学への進学希望者が、自分のやりたいことに合った学部・学科が見つけれられるような、また、大学にとっては、確かな学力を身につけ、やる気にあふれた学生が、多数、志願してくるような「入り口」の仕組みを考えていきたいと思っています。

■連絡先／入学センター TEL 025-262-6170



学外説明会
(東京会場)